

# おうち時間 家族で点検 火の始末

春は火災が発生しやすい時季です。火災は一瞬のうちにすべてを灰にし、財産を損失してしまいます。火災の多くは、一人ひとりの日々の対策によって防ぐことができます。日ごろから火の取り扱いに十分注意し、火災予防に努めましょう。

☎富士山南東消防本部  
972-5802

## ■管内火災件数<令和3年> ( )は前年比

火災種類	市内	管内
建物火災	7件 (△1)	32件 (+8)
林野火災	0件 ( 0)	0件 (△2)
車両火災	7件 (+4)	10件 (+2)
その他の火災	6件 (+2)	12件 (+2)

令和3年中に市内で発生した建物火災7件のうち、住宅の火災は2件でした。

## ■住宅火災を防ぐためのポイント

全国で発生した火災のうち、建物火災が約半数であり、そのうち約6割が住宅の火災です。建物火災の主な出火原因は、タバコ・こんろ・電気器具などに関するものです。以下のポイントを参考に、火災予防を心がけてください

### Point.1 タバコによる火災の予防

着火物は布団類が多くなっています。寝タバコは絶対にしないでください。防災品のシーツや掛布団カバーを使用することも火災予防に有効です。

チェック	<input type="checkbox"/> 灰皿に水を入れ、吸殻をためない <input type="checkbox"/> 吸殻は水に湿らせてから捨てる
------	---



### Point.2 こんろによる火災の予防

IHクッキングヒーターを利用する人が増えてきます。専用の鍋を使用しない、少量の油で揚げ物をするなど、不適切な使用により火災になることがあります。注意してください。

チェック	<input type="checkbox"/> こんろから離れるときは必ず火を消す <input type="checkbox"/> 近くに燃えるものを置かない <input type="checkbox"/> 古くなったガスホースは使わない
------	--

### Point.3 電気器具などによる火災の予防

トラッキング（コンセントに差し込んだ差し刃間に電気回路が形成され出火すること）や電気コードが原因の火災に注意してください。

チェック	<input type="checkbox"/> 使わない器具はコンセントから抜く <input type="checkbox"/> コンセント部分は定期的に清掃する <input type="checkbox"/> 電気コードはたこ足配線にしない、束ねて使わない、家具の下敷きにしない
------	---

## ■住宅用火災警報器は正しく設置を！

火災による逃げ遅れを防ぐための住宅用火災警報器を設置しましょう。住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して音声や警報音で火災を知らせます。設置後は定期的に作動確認を行ってください。また、電池切れなどにより、火災を正常に感知できなくなることがあります。設置後10年を目安に交換してください。

